

未来へ夢を育む学校



学校だより

5月号 学校長 右橋 康彦



花に囲まれて、人に育てられて

先日、校庭を一回りしながら、春の花の写真を撮ってみました。すでに、「すぐーる」のタイムラインでご覧いただいた保護者の皆様も多いと思いますが、あらためて歩いてみると、白幡小学校には本当にたくさんの花が咲いていることに気づかされます。花壇やプランターには、オステオスペルマムやビオラ、チューリップ、モッコウバラなど、春の花々が色鮮やかに咲き、校庭をやさしく彩っていました。見ているだけで気持ちが和らぎ、私自身、とても癒やされる思いがしました。

本校はイチヨウの木が有名ですが、それ以外にもたくさんの木々があります。そして、その花や木々を、日頃からボランティアの皆様が大切に世話してくださっています。花植え隊の皆様が季節ごとに花を植え、手入れをしてくださり、また樹木についても、剪定などを含めて丁寧に整えてくださる方がいます。学校の美しい環境は、自然にそこにあるものではなく、こうして見えないところで支えてくださる方々の力によって守られています。本当にありがたいことだと思っています。

子どもたちは、こうした花や木に囲まれながら毎日を過ごしています。朝、登校して校門をくぐるとき、休み時間に校庭へ出るとき、教室へ向かうとき、何気ない毎日の中で季節の移り変わりを感じ、美しいものに触れています。こうした環境の中で学校生活を送れることは、子どもたちにとってとても幸せなことです。花や木に囲まれた学校で過ごすことが、子どもたちの心を豊かにし、学校を大切に思う気持ちや、身の回りのものを大事にしようとする気持ちにつながっていくのではないかと思います。

もう一つ、最近とてもうれしく感じているのが、6年生の姿です。先日の避難訓練では、黙って素早く移動し、整列し、しっかりと話を聞く姿が見られました。さすが6年生だな、と感じる立派な姿でした。白幡小学校の最高学年として、学校全体をしっかりと支えてくれていることを頼もしく思っています。

6年生のよさは、そうした行事の場面だけではなく、毎朝、1年生の教室では、6年生が一人一人に声をかけながら、ランドセルの片付けや授業の準備を手伝っています。入学して間もない1年生にとって、朝の時間はまだ分からないことも多く、不安もある時間です。そんな1年生にやさしく寄り添い、当たり前のように手を差し伸べている姿を見ると、とても温かい気持ちになります。また、給食の時間には、牛乳パックを開けるのを手伝ったり、食器や残菜の片付けを手伝ったりする姿も見られます。困っている1年生に、ずっと手を差し伸べる6年生の姿を見ていると、本当にうれしくなります。

花や木々に囲まれた豊かな環境、そして人にやさしく関わる子どもたちの姿。白幡小学校には、その両方があります。地域やボランティアの皆様を支えられながら、その温かさが子どもたちの中にも育っていることを、日々うれしく感じています。こうした白幡小学校のよさをこれからも大切にしながら、子どもたちが安心して過ごし、豊かな心を育んでいける学校にしていきたいと思っています。

◆学校の教育活動の様子については、学校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirahata/>

二次元コードはこちらから→

